

入 口 支 援 課 題	本人要因		家族要因		環境的・地域的要因	
	知識・興味・関心がない	知識・興味・関心はあるけれど・・・	知らない・気が付かない	理解・協力ががない・できない	通いの場等に行けない・行かない	交流の機会を望まない・機会がない
	知らない、気が付かない	恥ずかしい、自分から言い出せない	知識がない	サービスを利用することに反対する	遠い	他人と関わりたくない
	知識がない	他人の世話になりたくない	何が問題なのかわからない	問題を先送りにする	一人では通えない	他人に干渉しない
	何が問題なのかわからない	迷惑をかけたくない	包括を知らない	他人任せにする	お金がない	近所づきあいを望まない
	包括を知らない	家族のいうことは聞けない	リエイブルメントセンターを知らない	支援を拒否する	自分に合うサービスがない	高齢者に声を掛けづらい・機会がない
	リエイブルメントセンターを知らない	市の事業を利用することに抵抗がある	同居でも大きな支障がないと気が付かない			地域での交流の機会が減っている
	意欲がもてない	老いを認めたくない	別居だと気が付きにくい、独居だと日常の世話ができない			町会やサロンの担い手が少ない
	希望がもてない、あきらめている	問題を先送りにしている	自分の伴侶、親が老いると思っていない、認めがたい			気軽に相談できる相手がいない
		面倒くさい				まち全体で健康づくりや介護予防に取り組む機運がない
		日々の生活で精いっぱい				

～ 自 分 の 力 で 自 分 ら し い 暮 ら し を 続 け ら れ る 人 を 増 や す た め 、 地 域 、 行 政 、 私 （ た ち ） が で き る こ と ～

本人					
家族					
地域 (町会・民生委員・サロン・自主サークル等)	定期的に体力測定 ができる機会があ るとよい	(1)前回までの振り返り、今回の主旨の共有(事務局) (2)今回の取組確認(事務局) ①「いつ」「誰が」「どこで」「誰と」「何を」「どうすればよいか」など具体的な解決策や、 ②「こうなったらいいな」「こんなことができたらいいな」など具体的な目標などを付箋に記入していきます。 (3)入口、出口グループに分かれる(進行は事務局指名、書記は事務局が担う) (4)各グループ内で見えてきた方向性についての意見交換、まとめ (5)入口、出口グループ集合してお互いの成果発表 (6)会長・副会長からのまとめのコメント ※ 第2回 地域ケア推進会議では、第1回で出された意見を整理した上で、足りないところを補完していく。			子どもから高齢者 まで交流できる地 域イベントは重要
包括					
医療 ・リハ					
ケアマネ 等 介護専門職					
企業等					
行政					
その他					